

夏越大祓

なごしのおおはらい

七月三日 午後三時より、

大祓は半年ごとに行われ、日々健康に無事過ごす事を祈念して斎行致します。古来より水無月の夏越の祓いする人は 千歳の命のぶといふなり」とうたわれ、形代祓や、茅の輪くぐり神事」も行い心身の罪穢れ一切を祓い清めます。



参列自由につき、是非ご参列下さい。尚、参列出来ない場合は神社にて事前に配布する人形 ひとがた をもちい各自でお祓いをして、当日までにお持ち下さい。

○六月十九日 氏子会総会

各地区氏子の代表が出席し平成二十三年度総会が開催されました。今年度も神社の御事につきまして氏子の皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご奉納御礼 (九号以降)

- 拝殿献備案、大工工事 菅原 拓殿
- 不動宮畳新調 匿名 殿
- 震災復興祈願千羽鶴他 佐藤けさみ殿
- 桜十本 佐藤甚太郎殿

第二十三回 笛と平家琵琶の夕べの案内

ふるさと坪沼実行委員会主催 生出市民センター 共催



今年も七月二日 (土)午後六時半より 震災復興も願い、境内で開催されます。当日は、平家琵琶の伝承者後藤光樹先生や、子供たちも参加する祭囃子の演奏、模擬店なども多数出店されますので、どうぞお越し下さい。

午後三時半からは坪沼ウォーキング(板橋方面)を開催。史跡名所巡りにもご参加下さい。詳しくはお問い合わせ下さい。

ご祈祷のご案内

完全予約制

午前九時より午後五時頃まで行います。その他の時間も応相談です。

緊急 家の神棚や屋敷のお宮は大丈夫？

この度の地震により、神棚や屋敷内のお宮にも被害があったと思われる。余震があるからとそのままにせず、特にこのような時こそ神様にお守り戴かな

坪沼八幡神社社報

がんばれ宮城 負けるな日本



「災難に勝つ」ご神木サイカチに祈りを込めて

◆家庭の幸せは神まつりから ◆毎月二十五日は神社にお参りしましょう

この度の大地震で多くの命を落とされた方々とご遺族に哀悼の誠を捧げますとともに、皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

ご挨拶

震災より百日の節目を迎え、坪沼では、ようやく落ち着きを取り戻した感がありますが、未曾有の震災は日本中に大きな被害をもたらした、人々の心に大きな陰を残しました。幸い氏子区域あるいは崇敬者におかれましては人的な被害も無く、偏に八幡大神様のご加護の賜と、日々感謝の祈りを捧げさせて戴いている次第です。

さて、今回の震災では「自然と人」、そして「人と人」、その関わり方があらためて問われた気が致します。自然の大きな力を軽んじ、畏敬の念が薄れてきた人類に警鐘を鳴らしたと感じた人も少なくありません。自然は人の計り知れないことであり、その一員として共生するには謙虚な心が大切だと再認識しました。そのことは人の生き方にも通じます。「人と人」、絆も温かい心も、日本にはしっかりと残っておりまして、ややもすると失われかけていたかもしれませぬ。和の精神は長い年月の中で培

ければなりませんので、早めに元通りにお祀りされますようお願い申し上げます。なお、お祓い料等気を使われることはありませんし、または総代さんにご相談されるなど、お気軽にご連絡下さい。お宮の購入についてのご相談も承ります。

ご家族や個人の御祈禱

家内安全・身体健康・合格祈願・八方除・方位除・心願成就・病氣平癒・必勝祈願 お宮参り・七五三詣・安産祈願 等

交通安全祈願・車輛清祓 (車購入時)

厄祓(厄年表 数え年) 早めにお祓いをして

男 二十五・四十二・六十歳・本厄

女 十九・三十三・三十七歳・本厄

会社や団体の祈願

商売繁盛・安全祈願・必勝祈願・厄祓等 神社から出向してのお祓

家祓・地鎮祭・上棟祭・新宅祭・解体祓

井戸祓・木伐祭・旅館での団体祈願等

◇家相 年回り、よろず相談 御遠慮なく

編集後記

まずこの場をかり、お見舞いやお励ましをいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今こそ絆を確かめるとき、支え合って、がんばって乗り越えてまいりましょう。この社報が、復興への一助となれば幸いです。

わたれた日本人の魂であり、永く心に刻みながらこの先も忘れないでもらいたいと思えます。この坪沼でも変わらず後生に守り伝えていかなければならないと思えました。「日はまた昇る」、今こそ日本民族の魂を見つめ直す時、日の本の国は必ずや甦ることが出来るはず。今回は大自然のことで、なすすべもありませんでしたが、しかし「神は乗り越えられない試練は与えない」。今まで何度も、苦難を乗り越え、不屈の精神で再生を果たして今日を築いてまいりました。私たちは、目に見えない神の力を自分の力として、明るい未来の為、そして子供たちによりよい故郷を残す為、立ち上がり

一步 一歩進んでいかなければなりません。過去から未来へ続く命の繋がりの中で、今はその大切な岐路に立っているのです。まずは原点に立ち返り、心の再生により、復興が成し遂げられるのではないのでしょうか。残された者の使命として精一杯生きると、当たり前のごとが大切だと思えます。そして出来ることは人それぞれですが、ひとしく出来ることはやはり祈ることではないでしょうか。そのあたいたかい祈りこそが、きつと復興の光となるに違いありません。

坪沼八幡神社社報 第十号  
発行所 坪沼八幡神社社務所  
代表者 宮司 高山晃和  
仙台市太白区坪沼字館前東六十九  
電話 二八二二五八九 FAX 〇六五一

東日本大震災における神社の被害報告

去る三月十一日の未の刻、突如襲った未曾有の大地震により、神社も大きな被害を受けた。四月七日の余震では幸いにもそれ以上の被害はなかった。

本殿は古さ故に若干の歪みや隙間が生じたものの、平成十七年に御屋根を瓦から銅板に吹き替えたり土台を直していたおかげで大きな被害はなかった。

幣殿は結合部など一部損壊。

ただ拝殿は見た目には大きな被害はないものの、幣殿側が著しく向かって左に傾いた。しかしながら築二百年である大きな揺れにも耐えたのであるから、建物を残された先人たちの信心の深さにはあらためて驚かされた。

神楽殿や長床、鐘楼などは所々損傷した。社務所は若干の痛みがあったものの支



障なし。ただし社務所前に地割れ、またコンクリートにひびや裂け目が生じた。

お宮と長床の間の石積は崩壊。

二つの鳥居は無事。表坂の階段も無事。官司職舎もお陰様で無事でした。

その他特に被害なし。

復旧については、応急的な木工事や長床の瓦の修理を菅原副総代長にご奉仕戴き、またその他出来る範囲の修復をお祭り前にすませることとなり、総代はしめ坪沼老人クラブの方々等が奉仕し石積とコンクリートの補修修復などを終えた。三応の復旧は済んでいるが、今後については、大がかりな修復は諸情勢からも困難ではあるが、傾きを治したり、隙間を埋めたりといった修復は、出来る範囲で行ってまいりたく、様々な状況も見ながら関係各位と相談し進めてまいりたい。



行事報告

○元旦祭齋行  
一月一日

初日を拝む集い



○人形感謝祭  
一月十五日



○祈年祭齋行  
二月二十八日  
(豊作祈願)



○建国祭齋行  
二月十一日  
県民大会参加



○どんと祭  
一月十五日朝



平成二十三年度 例大祭齋行

四月十五日、例大祭が齋行された。

今年には震災より一ヶ月余り、まだ混乱の中であつたので、例年の様には出来なかつたが、本義に戻り祈りを捧げる場として震災復興祈願も兼ね行つた。



当初は、実施することにすら様々な話が寄せられたが、お祭りの意義を伝え、総代若長の度重なる協議の上、皆にも理解いただき粛々と行つた。国家の安泰、地域の平和と氏子崇敬者の幸福を祈るのが本来の趣旨であり、また御神輿が

地域をまわるのも、神様が各戸の安全を見守るためであることを確認した。誰も心が暗闇の中にあつたので、このような時こそ心の支えが必要と感じ、協



力会・婦人部をはじめ有志にも協力頂き、全ての町内をまわり祝詞とともに巫女の浦安の舞を舞つて平和と復興をみんなで祈つた。

【浦安の舞の歌詞】

あめつち 天地の 神にぞ祈る 朝なぎの 海のごとくに 波立たぬ世を

「昭和天皇御製」

尚、祈りが通じこの日は余震がなかつた。また心に痛みを負つた方もおられるだろうと、賑やかなことは自粛し、様々な配慮をして静々で行つた。

実際に地域を巡つて、お迎えの人たちが御神輿を拝むと笑顔をとり返し、ほつとしたようで、またお互いに元気そうな顔を見て安堵した様子だつた。あらためて地域の絆の大切さを再認識した。地域のみんなに神の御力と安心・元気を届けることが出来て本当に良かったと思つた。

供奉の皆さんも一日中硬い面持ちで奉



行事報告

○元旦祭齋行  
一月一日

初日を拝む集い



○人形感謝祭  
一月十五日



○祈年祭齋行  
二月二十八日  
(豊作祈願)



○建国祭齋行  
二月十一日  
県民大会参加



○どんと祭  
一月十五日朝



よかつた」と全員が心一つになり、特別な一日が終わつた。今回は紆余曲折があつたものの、日本人の原点を感じた貴重な日になつたのではないかと思います。

ご協力下さいました皆さんには心より厚く御礼申し上げます。激励またはご心配くださった方にも、感謝申し上げます。お祭りで祈つた皆さんの思いが叶うまでまだ道半ば、というより始まつたばかりで、造り固めるまでには果てしないことかもしれません。私たちが一人一人の持つている役目を少しずつ果たしてまいりましょう。

敬神婦人部だより

例大祭の前に、恒例の清掃奉仕が行われました。また様々な行事でも皆さんにご協力頂いております。

